

クロール・オントラックは、E ディスカバリテクノロジーとローカルな専門知識によりローカルデータ管理を実現

規制当局の調査と規制の遵守のために高まる柔軟なオンサイトテクノロジーの必要性

東京 - 2016年1月26日 - 国家間、規制業種間、組織間のデータ移送に影響を及ぼす法制度がグローバルに変化する中において、さまざまな組織が、調査、規制当局からの情報要求、コンプライアンス義務への対応時のデータプライバシーの懸念にどうすれば最善の対処ができるかという問題に取り組んでいます。こうした状況に対応して、クロール・オントラックは本日、ポータブルな E ディスカバリテクノロジーとコンサルティングの組み合わせによって、組織が世界中どこでもデータの収集、解析、処理、フィルタリング、レビューを行うことを実現する独自のサービス提供モデルを開始しました。

クロール・オントラックのモバイルソリューションは、パワフルな処理・レビューテクノロジーとローカルコンサルティングに関する専門知識を組み合わせ、オンサイトでのデータのフィルタリング、検査、レビューを実現するものです。データセンターや固定的な国内ソリューションはもう必要ありません。クロール・オントラックのコンピューターフォレンジック・調査の専門家は、出向いた先で、対象データの解析を行い、コンプライアンスチームや E ディスカバリチームの弁護士と協力して、具体的なユーザーの活動に照準を合わせ、事実に基づくケース戦略を策定します。

「当社のモバイルソリューションのパワー、ポータビリティ、柔軟性により、私たちは、文字どおりどこでも、グローバルなクライアントが世界中に拡散しているデータに関する難題に対処するのを支援することができます」とクロール・オントラックのプロダクトディレクター、ウエンディ・キングは話しています。「ここ 6 か月間をみても、プライバシー法による制限や入り組んだ規制が実施されている国や業界で複雑で慎重な対応を要することが多い調査について支援を必要とするお客様が大幅に増えています。ローカルな法、言語、文化に関する問題に精通しているコンサルタントが展開する当社の統合グローバルソリューションは、お客様が必要とする場所で必要とする時にパワフルなテクノロジーとローカルな専門知識へのアクセスをお客様に提供するものです。

現在、E ディスカバリは、その訴訟制度のもとで E ディスカバリを行う義務のない国にとっても、企業や法人のガバナンスの場面で重要な要素になりつつあります。最近クロール・オントラックが公表した報告書 [New Frontiers in Ediscovery](#) (E ディスカバリの新しいフロンティア) では、欧州とアジアでの E ディスカバリの急速な発展に注目し、今では訴訟事件に限らず豊富な法務事案で用いられている E ディスカバリテクノロジーの適応性を大きく取り上げています。

「グローバルな組織や法律事務所は、広範囲に及ぶデータ管理上の難問に対応するのに用途の広い E ディスカバリのテクノロジーを頼りにしています」とクロール・オントラック CEO、マーク・ウィリアムズは話しています。「具体的には、モバイルテクノロジーがコンサルタントのローカルな専門知識と手を組むことは、世界中の詐欺や腐敗行為の調査、高度に規制された環境、業界または国での訴訟データの処理、国内外で高度に慎重な扱いを要する企業データの検索によりデータセットをさらに理解するために不可欠な場合があるのです。」

クロール・オントラック・インターナショナル・リーガル・テクノロジーズのマネージング・ディレクター、ティム・フィリップスは、次のように述べています。「最近のセーフハーバー協定無効の判決、欧州連合における「一般データ保護規則（General Data Protection Regulation）」の改革、中国の国家秘密保持法により、組織はデータ管理方法の厳格化を迫られており、データプライバシーの問題に対処するためにモバイル E ディスカバリの具体的なソリューションが求められています。」

世界中のクライアントがローカルな専門知識とサポートを求めているのを受けて、クロール・オントラックではデータセンターと文書レビューチームのグローバルなネットワークを拡大しています。モバイルソリューションと 5 か所のデータセンター（米国、英国、フランス、ドイツ、日本）のほかにも、クロール・オントラックは、真にグローバルなサービス展開を支援するために世界 30 拠点に裁判実務に精通した専門家を配しています。2014 年 5 月にはフランクフルトにドイツのデータセンターを開設し、2015 年早々にはパリにフランスのデータセンターを立ち上げました。さらに 2015 年 1 月にロンドン市内の裁判所や法律事務所の集まる地区に設置された文書レビューセンターは、急成長を遂げ大成功を収めています。つい最近も、クロール・オントラックは、クライアントによる国家秘密保持法の遵守を支援するために[中国で E ディスカバリサービス](#)を提供することや、[Relativity の英国サービスとの統合](#)を公表し、2016 年 3 月には東京の事業環境にも Relativity を投入する計画です。Kroll Ontrack は、Relativity のベストサービスパートナーであり、2015 年の Relativity Innovation Award for Best Service Provider Solution を受賞しました。

クロール・オントラックのモバイルソリューションに関するさらに詳しい情報については、www.ediscovery.com をご覧ください。

Kroll Ontrack LLC について

クロール・オントラックは、弁護士、企業、政府機関のほか消費者の効率的でコスト効果にすぐれたデータの管理、リカバリ、検索、分析、精査、提出を支援するためにテクノロジー指向のサービスとソリューションを提供しています。受賞歴のある一連のソフトウェアのほか、クロール・オントラックは、データリカバリ、データの破棄、E ディスカバリ、コンサルティング、文書のレビューに関するサービスを提供しています。クロール・オントラックとそのサービスに関するさらに詳しい情報については、www.ediscovery.com をご覧いただくか、またはツイッターで @KrollOntrack をフォローしてください。

広報窓口：

Judith Massey, Charlotte Pascal, Camilla Medd

Citigate Dewe Rogerson

電話：00 +44 (0) 207 638 9571

Camilla.medd@citigatedr.co.uk